

**「令和元年度中国個人旅行者向け観光プロモーション等業務委託」
受託候補者特定に係るプロポーザル実施要領**

(趣旨)

第1条 「令和元年度中国個人旅行者向け観光プロモーション等業務委託」の受託候補者をプロポーザルにより特定する場合の手続き等については、横浜市委託に関するプロポーザル実施取扱要綱（以下「実施要綱」という。）に定めがあるもののほか、この実施要領に定めるものとする。

(実施の公表)

第2条 実施の公表にあたっては、実施要領、提案書作成要領、提案書評価基準及び業務説明資料により、次の各号に掲げる事項について明示するものとする。

- (1) 当該事業の概要・基本計画等
- (2) プロポーザルの手続き
- (3) プロポーザルの作成書式及び記載上の留意事項
- (4) 評価委員会及び評価に関する事項
- (5) その他必要と認める事項

(提案書の内容)

第3条 提案書は、次の各号に掲げる事項について作成するものとし、様式などは、別に定める。

- (1) 提案事業者の概要
- (2) ワーク・ライフ・バランス及び障害者雇用に関する取組
- (3) 類似業務実績
- (4) 当該業務の実施体制
- (5) 当該業務の実施方針
- (6) 具体的な提案内容
- (7) 業務実施スケジュール
- (8) 効果測定及び報告

(評価)

第4条 プロポーザルを特定するための評価事項は、次に掲げる事項とする。

- (1) 業務実施体制
 - (2) 業務実施方針及び手法
 - (3) 業務実施による効果
- 2 プロポーザルの評価にあたって、提案者にヒアリングを行うものとする。
- 3 提案書の内容及びヒアリング結果を基に、当該業務に最も適した者を特定する。
- 4 特定、非特定に関わらず、各々の提案者の評価結果については、その提案者に通知する。

(プロポーザル評価委員会)

第5条 評価委員会は、次の各号に定める事項について、その業務を行う。

- (1) 提案書の評価
- (2) 評価項目及びそのウエイト並びに評価基準の確認
- (3) ヒアリング
- (4) 評価の集計及び報告

2 評価委員会に委員長及び副委員長を置き、その他委員は次のとおりとする。

委員長 文化観光局企画課長

副委員長 文化観光局文化プログラム推進課長

委員 文化観光局創造都市推進課長

文化観光局観光振興課集客推進担当課長

文化観光局企画課横浜プロモーション担当係長

文化観光局担当係長（(公財)横浜観光コンベンション・ビューロー派遣）

3 委員長に事故等があり、欠けたときには、副委員長がその職務を代理する。

4 評価委員会は、委員の5分の4以上の出席がなければ開くことができない。

5 委員長は、評価結果を文化観光局第2入札参加資格審査・指名業者選定委員会（以下、選定委員会と言う）に報告するものとする。

(評価結果の審査)

第6条 選定委員会は、評価委員会から評価結果の報告があったときは、選定委員会において、次の事項について審査する。

- (1) 評価委員の採点が適正に行われたこと。
- (2) 評価委員会の審議及び採点の集計等が適正に行われたこと。
- (3) 評価結果に関し、必須事項以外に公表する事項の選定
- (4) 特定、非特定結果通知書に記載する理由
- (5) その他必要な事項

附 則

この要領は、令和元年6月19日から施行する。